

しっかりととした支援をいち早く果たした訳ですが、防災協定を結んだ全国各地の市町村の何処よりも早く、しかも遠くから来て貰ったと喜んで頂きました。現在は鳥取県町村会を中心に宮城県南三陸町に職員派遣して支援を続けていますが、自立の目途が立つまでの支援を果たしていくつもりです。

原発については原発を必要とする社会を変えて行かなければならないと言う事になるのではないのでしょうか。悲しいかな、すぐに止める訳にも行きませんが、原発依存の日常生活を見直し、脱原発に向かって出来る努力を重ねて行く事のように思っています。三菱総研の小宮山理事長は2050年にはエネルギー消費は現在の

の3分の1に減るとの見通しを述べられ、省エネこそ最大のエネルギー源であり、効率化で過渡期を乗り切るべきと主張されています。計画停電などで分かったように国民は協力的ですから、誰にも取り組める現実的なエネルギー施策だと言えます。

町ではエネルギービジョンを策定し、公共施設やご家庭の自然エネルギーへの取り組みを進めています。庁舎や学校、ご家庭の太陽光発電、木質バイオマスとして庁舎へのペレット炊き冷温水機設置、ご家庭でのまき炊きボイラーやストーブへの補助制度、南部町産材使用の住宅補助制度など盛りだくさんです。また本年は町内の潜在的な水力発電適地調査や、県に

よる賀祥ダムに水力発電機の設置、原子力安全基盤機構の地震計設置に寄せて、オートキャンプ場周辺の温泉開発など、自然エネルギーの開発に向けて取り組む予定です。

この時代だからこそ明るく笑いのある町づくりが大切と思います。本年は古事記1300年を記念して、吉本のお笑いタレントと町民協働の新喜劇に取り組んで見ようと計画しています。町には大小様々な課題が存在しますが、絆で結ばれた確かな人間関係を基本に未来に希望を持てる町を追求して参りますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

平成24年 元旦